

助動詞の使い方

パート2の
コーズ英語

384～394
ページに
対応

章の要点整理

1 助動詞の働きと文の形

- 助動詞は動詞の前におき、あとの動詞は必ず原形にする。
- 否定文は、助動詞のあとにnotを入れる。
- 疑問文は、助動詞を主語の前に出す。答えの文でもふつう同じ助動詞を使う。

ふつうの文

She can play the piano.

(彼女はピアノを弾くことができます。)

否定文

She can't play the piano.

(彼女はピアノを弾くことができません。)

疑問文

Can she play the piano?

(彼女はピアノが弾けますか。)

— Yes, she can. (はい。) / No, she can't. (いいえ。)

2 can, may, must

▶助動詞

▶過去形

▶意味

can	could	～できる (能力), ～してもよい (許可), ～でありうる (可能性)
may	might	～してもよい (許可), ～かもしれない (推量)
must	(had to)	～しなければならない (義務), ～にちがいない (推量)

- <have[has] to+動詞の原形> で「～しなければならぬ」の意味を表す。
- must notは「～してはならない」, don't have toは「～する必要はない」の意味を表す。

3 would, could, should

- would は will の過去形だが、次のような表現でも使われる。

I would like ~. (～かほしいのですか。)	Would you like ~? (～はいかかですか。)
I would like to ~. (～したいのですか。)	Would you like to ~? (～するのはいいかかですか。)

- could は can の過去形で、「～することができた」。ていねいな依頼の文でも使われる。
- should は「～したほうがよい」「～すべきだ」。

4 依頼や許可を求める表現

- 依頼

「～してくれませんか」	Will you ~? / Can you ~?
「～してくださいませんか」	Would you ~? / Could you ~?
- 許可

「～してもいいですか」	May I ~? / Can I ~?
「(私が)～しましょうか」	Shall I ~?
- 誘い

「(いつしよに)～しましょうか」	Shall we ~? / Why don't we ~?
------------------	-------------------------------